

# 無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集 (△05)

**研究組織** 石村智、金昭賢(以上、無形文化遺産部)、二神葉子(文化財情報資料部)、宮田繁幸、神野知恵(以上、客員研究員)

**目的** 無形文化遺産保護に関わる国際的動向の情報収集を図り、アジアを中心とする海外の研究機関等との研究交流を実施し、国内外の無形文化遺産保護に貢献する。

## 成果

### 1. 韓国文化財庁国立無形遺産院との研究交流

韓国国立無形遺産院との研究交流の一環として、11月24日～12月12日にかけて先方より崔淑慶学芸研究士を受け入れ、無形文化財の登録制度と生活文化についての共同研究を実施した。

### 2. 無形文化遺産の国際的な動向に関する調査研究

ユネスコ無形文化遺産条約第17回政府間委員会(11月28日～12月3日)は3年ぶりの現地(モロッコ)開催となったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、2人のスタッフ(石村・二神)がリアルタイムで傍聴し、ユネスコ無形文化遺産条約に関する情報収集を行った。なお本調査の成果は『無形文化遺産研究報告』第17号において報告した。

### 3. アジア太平洋無形文化遺産研究センター(IRCI)への協力

IRCIへの協力として、国際シンポジウム「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究：持続可能なまちづくりと無形文化遺産」(1月31日～2月2日)に1人のスタッフ(石村)が出席した。

### 4. その他

文化遺産国際協力コンソーシアム令和4年度シンポジウム「気候変動と文化遺産—いま、何が起きているのか—」(10月23日)に1人のスタッフ(石村)が参加し、研究発表「気候変動と伝統的知識：オセアニアの事例から」を行った。またその内容を『無形文化遺産研究報告』第17号において報告した。

## 論文

- 二神葉子：「無形文化遺産の保護に関する第17回政府間委員会における議論の概要と今後の課題」『無形文化遺産研究報告』17 pp. 1-23 23.3
- 石村智「気候変動と無形文化遺産：オセアニアにおける気候変動の影響と伝統的知識の変容」『無形文化遺産研究報告』17 pp. 101-108 23.3

## 発表

- 石村智：「気候変動と伝統的知識：オセアニアの事例から」文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム「気候変動と文化遺産：いま、何が起きているのか」22.10.23



韓国国立無形遺産院との研究交流における現地調査の様子(小豆島)